

(株)南勢セラミック サイトレポート2006

■代表者の緒言

弊社は、自然豊かな環境の中にあり、この立地環境を強く意識した企業活動の中で、ゼロエミッションの維持、環境負荷物質の使用削減及び廃棄物排出量の削減に取り組み、昨年度は大幅な廃棄物削減を達成しました。今年も引き続き環境を意識した企業活動を進めると同時に、地域の皆様をはじめとする関係者への情報公開も継続してまいります。



■会社概要

所在地：三重県度会郡南伊勢町齋田91-17
 創立：2001年(平成13年)6月
 社長：脇田 尚正
 資本金：30百万円
 主要事業：電子部品、自動車用センサ部品の製造
 従業員：52人(2006. 3. 31現在)

■ISO 14001認証状況

取得年月 2002年12月
 認証機関 TUVラインランドジャパン
 認証書番号 09 104 8237/9



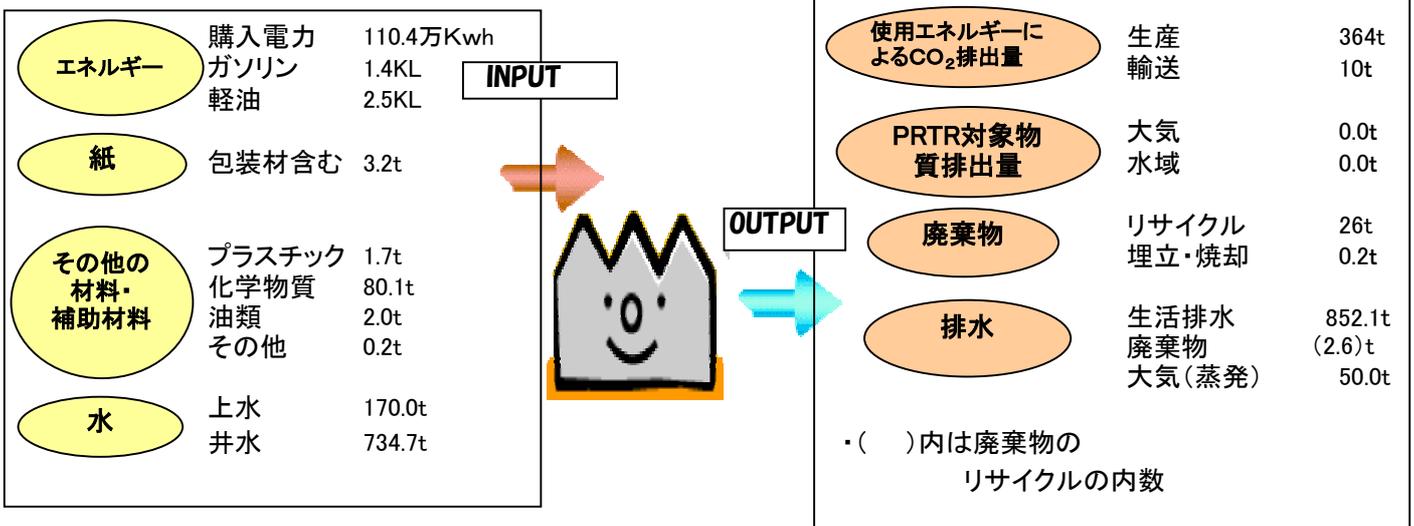
■法規制遵守状況

法規制違反、罰金、訴訟の件数 0件
 利害関係者からの要求の件数 0件

■安全衛生

労働災害
 操業開始以来 連続 無事故、無災害継続中

■2005年度マテリアルバランス(収支)



■PRTR法対象物質

鉛及びその化合物 1,715 kg (※リサイクル率 100%)

■排水・騒音

項目	種類	単位	法規制	自主基準	平均
排水	pH		—	5.8~8.6	7.1
	SS	(mg/L)	—	90	4.7
	BOD	(mg/L)	20	20	5.3
	COD	(mg/L)	—	40	7
	nヘキサン	(mg/L)	—	5	<1
	鉛	(mg/L)	—	0.1	測定限界以下
	窒素	(mg/L)	—	100	8.3
	燐	(mg/L)	—	16	0.84
	大腸菌	(個/cm ³)	—	1000	252

項目	種類	単位	法規制値	自主基準値	平均
騒音 (北側)	朝方	(dB)	55	55	53.5
	昼間	(dB)	60	60	57.8
	夕方	(dB)	55	55	52.7
	夜間	(dB)	50	50	49
振動	昼間	(dB)	65	65	<45
	夜間	(dB)	60	60	<45

■地域清掃活動

実施年月	参加人数
2005/6/14	16名
2005/9/21	15名
2005/12/16	14名
2006/3/9	17名

場所
会社周辺の国道沿線



■安全衛生・環境大会の開催 ■ステークホルダー ミーティングの開催

2006年6月27日 地区環境大会に
並行して地元齋田区役員2名の方と
ステークホルダーミーティングを
開催、安全衛生、環境活動の内容
説明と懇談、リサイクルセンター
排水処理設備等の見学会を開催した



■2005年度環境取り組み

○:目標達成 . ×:目標未達

取り組み項目	目的・目標	2005年度実績	実績評価【達成度】
温室効果ガス排出量の削減	製造部門:原単位で2001年度比23.8%削減 目標原単位 :1.115Kg・CO ₂ /千円	2001年度比26.2%削減 実績原単位 :1.078 Kg・CO ₂ /千円	○
ゼロエミッションの維持	廃棄物の有効利用率98%以上	ゼロエミッション維持 有効利用率 99.4% 焼却廃濾紙、リサイクル化実施	○
廃棄物排出量の削減	03年度比 5%削減	削減率 46.7%、廃アルカリ削減	○
上水、井水使用量削減	上水:03年度比5%削減 井水:04年度比5%削減	上水:削減率 13.1% 井水:削減率 2.0% 合計削減率 4.3%	×
コピー紙の使用量削減	2001年度実績の50%削減	削減率 51.2%	○
環境負荷物質の環境への排出量低減	PRTR対象物質の環境への排出量を原単位で2001年比15%削減	トルエン含有シリコン代替化完了で10月以降、負荷物質排出ゼロ	○
環境に配慮したグリーン調達 の推進	事務用品のエコ化率92.5%以上	エコ化率100%	○
地域社会の環境に配慮	工場周辺地域清掃活動 年2回以上実施	清掃活動 6.9.12.3月 年4回実施	○
	ステークホルダーミーティングの開催	6月地元自治会役員とのミーティング開催	○

■2006年度主な目的・目標

管理項目	目的・目標
EMS遵守・確認	環境関連事故、苦情、環境法規制違反件数ゼロ
環境経営情報管理の一元化	スリムオフィス利用ルールに従い、安定した運用
CSR経営の推進・環境リスクの削減	緊急時対応標準、設備、用具の見直し。教育・訓練の実施
温室効果ガス排出量の削減	3.7トン/年のCO ₂ 削減対策を実施
廃棄物排出量の削減	1.8トン/年の廃棄物削減対策を実施
水使用量の削減	5m ³ /年の水削減対策を実施
グリーン購入推進と燃料管理	事務用品エコ化率100%の維持と輸送燃料使用量の継続管理
廃棄物による環境負荷の低減	ゼロエミッションの維持とリサイクル残渣の調査実施
環境負荷物質の管理の徹底	ハロゲン系有機溶剤の使用量管理方法を確立し管理を徹底する
社会貢献の推進	地域清掃活動の継続実施 年4回以上
ステークホルダーミーティングの開催	1回以上/年

お問い合わせ先 総務課 0599-65-3366

2006.9.1発行